

下肢切断回避目的

チーム医療 ワークショップ

当院は平成16年より創傷ケアセンターを設立し難治性創傷(特に動脈疾患を伴う下肢の難治性創傷)の患者さんに多職種によるチーム医療を行っています。詳しくは当院のホームページをご覧ください。この難治性創傷による下肢切断回避目的のチーム医療が23年度厚生労働省「チーム医療実証事業」の実施施設に指定され、24年度は「チーム医療普及推進事業」の実施施設に指定されました。

今度は、このチーム医療を多くの施設に普及推進するため、当院独自の下肢救済チーム医療のワークショップを開催いたします。このワークショップに参加される病院を公募します。

日程等は参加を希望される病院と調整し決めます。また、チーム医療が目的のため多職種の参加をお願いします。

詳しくは下記にお問い合わせ下さい。

+ 希望施設はご連絡ください

場 所 : 大分県

担当者 : 岡田 八重子

メール : yokada@oka-hp.com

電 話 : 097-522-3131



社会医療法人 敬和会 大分岡病院
院長 立川 洋一 様

平成 年 月 日

下肢救済チーム医療の実践 ワークショップ申込書

申し込み施設名 _____
代表者名 _____

<申し込み概要>

- ① 希望コース ・ 1日コース ・ 2日コース
- ② 日時 (原則、第2・4の水曜日～木曜日をお願いします。)
- ・ 第1希望:
 - ・ 第2希望:
 - ・ 第3希望:
- ③ 目的・内容等の希望

- ④ ワークショップ参加職種・名前
- ・ 職種 () 名前 ()
 - ・ 職種 () 名前 ()
 - ・ 職種 () 名前 ()
 - ・ 職種 () 名前 ()
 - ・ 職種 () 名前 ()

- ⑤ 担当者連絡先
- ・ 氏名
 - ・ 連絡先 TEL _____ メールアドレス _____

※ 詳しい打ち合わせについては、2~3日中にこちらから折り返しご連絡いたします。

担当者 : 岡田 八重子
メール : yokada@oka-hp.com
FAX : 097-522-3777

下肢救済のためのチーム医療ワークショップ参加 事前アンケート

下肢救済のチーム医療ワークショップ参加希望施設へのアンケートを行っております。
当てはまるところに○を付けてください。また該当部位があれば書き込んでください。

1. 当院ワークショップ参加の動機について

- (1) 未知の分野で興味がある。
- (2) 重症虚血下肢の足病変の治療をしている。
 - ① チームがあり、うまくいっているが、参考のため。
 - a. 院内完結型のチームです。
 - b. 地域連携の中のチームです。
 - ② チームはあるが、問題点もあり、その解決のため（複数回答可）。
 - a. 問題点は診療科間の連携である。
 - b. 病棟やリハビリなど治療自体が滞る。
 - c. 入院（治療）期間、売上
 - d. その他（ ）
 - ③ チームはないが、治療はしていて今後チーム医療を立ち上げたい。
 - ④ チームはないが、治療はしている。今後の治療の参考のために。

2. 特に困っていることがありましたら、ご記入ください。

ご協力ありがとうございました。参加日までには下記担当までメールもしくはFAXで送付ください。

担当者：岡田 八重子

メール：yokada@oka-hp.com

FAX：097-522-3777

社会医療法人 大分岡病院 創傷ケアセンター チーム医療 研修スケジュール

研修日程：1.5日

【プログラム】

月 日	時 間		プログラム	内 容	担当者	場 所
【第1日目】	09:30 ～ 09:35	05分	あいさつ		病院長・事務長 創傷ケアセンター長	研修センター
	09:35 ～	25分	オリエンテーション	大分岡病院の概要	事務長	研修センター
	10:00 ～ 10:30	30分	院内見学			
	10:30 ～ 12:00	90分	見学 創傷ケアセンター外来	1. 創処置の実際 1) デブリードマン 2) ドレッシング・薬剤の選択 3) 除圧・免荷 2. バスキュラーラボ見学 3. フットウエア外来 1) アセスメント 2) 採型 3) 装用指導 4) 経過観察と評価、調整 4. フットケア	創傷ケアセンター外来スタッフ 臨床検査課	創傷ケアセンター 生理検査室
	12:00 ～ 12:45		昼食・休憩			
	12:45 ～ 13:15	30分	講義	1. 創傷ケアセンターの意義・役割 2. 創傷ケアセンター構成スタッフ 1) ゲートキーパー（医師）の役割 2) 専任看護師の役割 3) チーム医療構成スタッフ	創傷ケアセンター長	研修センター
	13:15 ～ 14:00	45分	講義/質疑応答 創傷治療におけるチーム医療（1）	1. DPC 対象病院に於ける下肢救済チームの収益性 2. 受け入れ、退院の工夫 3. 入院中の役割、看護	医事課 医療福祉支援部 MSW 病棟看護師長	研修センター

	14:00 ～ 14:30	30分	見学	病棟での包交の実際 局所陰圧閉鎖療法（NPWT）など	形成外科医	病棟
	14:30 ～ 16:30	120分	講義、実習 歩行の評価、 リハビリテーション	1. ROM、筋力評価 2. 歩行評価とリハビリテーション 3. 装具とリハビリテーション 4. 再発予防のためのリハビリテーションと装具の装用について 5. TCC 実習および装具を用いた除圧の実際	理学療法士 作業療法士	総合リハビリセンター
	16:30 ～ 17:00	30分	ミーティング	質疑 応答		研修センター

1日目 終了

月日	時間	プログラム	内容	担当者	場所	
【第2日目】	09:00 ～ 10:00	60分	講義/質疑応答 創傷治療におけるチーム 医療（2）	1. 病棟担当薬剤師の役割 2. 創傷治癒促進に向けての栄養管理 3. 臨床心理士の役割	薬剤師 管理栄養士 臨床心理士	研修センター
	10:00 ～ 11:00		希望により 各専門職としての追加研 修			
	11:00 ～ 12:00			創傷ケアカンファレンス		
	12:00 ～ 12:30		質疑応答			

終了